



令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和2年2月5日

上場会社名 株式会社アサnte
コード番号 6073 URL <https://www.asante.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 中尾 能之

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 令和2年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	11,418	0.3	2,112	0.4	2,122	0.9	1,418	0.7
31年3月期第3四半期	11,378	3.2	2,122	9.2	2,142	8.7	1,427	9.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	114.90	
31年3月期第3四半期	115.68	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第3四半期	16,244	13,255	81.6	1,074.03
31年3月期	16,077	12,541	78.0	1,016.16

(参考)自己資本 2年3月期第3四半期 13,255百万円 31年3月期 12,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		27.00		27.00	54.00
2年3月期		30.00			
2年3月期(予想)				30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,430	6.4	2,615	14.4	2,628	13.6	1,752	15.6	141.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2年3月期3Q	12,341,900 株	31年3月期	12,341,900 株
2年3月期3Q	295 株	31年3月期	247 株
2年3月期3Q	12,341,619 株	31年3月期3Q	12,341,693 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調で推移する一方で、企業の人手不足感が高い水準にありました。また、個人消費は持ち直しの動きが見られたものの、消費税増税の影響もあり、力強さに欠ける状況が続きました。

当社市場におきましては、既存住宅の流通、リフォーム市場の拡大に向けた住宅政策は一層推進され、既存住宅の長寿命化に対する認知度は高まりつつありますが、消費者の節約志向は依然として根強く、当社サービスの需要拡大を抑制する要因となっております。

このような状況下において、当社は4月に組織体制を管理、営業、コンプライアンスの三本体制に移行し、各部門の機能強化と意思決定の迅速化を図りました。この新体制のもと、採用・教育体制の強化、生産性の向上、営業エリアの拡大を推進するとともに、コンプライアンスを強化してお客様満足度の向上に努めました。なお、営業エリアの拡大につきましては、新規エリアとなる兵庫県に阪神営業所を開設いたしました。

販促活動としては、「シロアリバスターズ®」をメインとしたCM、新聞折込、WEB広告を実施するとともに、サッカーチームとのスポンサーシップ契約を活用した広告・販促と、8頭に増えた探知犬の活用により、当社の認知度向上を図り、白蟻防除や地震対策の必要性を社会に訴求してまいりました。

以上の取り組みにより、売上高は前年同期比39百万円増加(0.3%増)の11,418百万円となりました。

売上原価は、前年同期比51百万円増加(1.6%増)しました。その結果、売上総利益は同12百万円減少(0.2%減)の8,220百万円となり、売上総利益率は同0.4ポイント低下して72.0%となりました。

販売費及び一般管理費は、主に人件費の減少により、前年同期比2百万円減少(0.0%減)しました。

この結果、営業利益は前年同期比9百万円減少(0.4%減)の2,112百万円、営業利益率は同0.1ポイント低下して18.5%となりました。経常利益は同20百万円減少(0.9%減)の2,122百万円、四半期純利益は同9百万円減少(0.7%減)の1,418百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社の業績(特に利益)は、第2四半期累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、白蟻防除関連の売上高が増加するためであります。この季節的変動により、四半期会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産は、前期末比167百万円増加の16,244百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加487百万円、売掛金の減少288百万円であります。

負債は、前期末比547百万円減少の2,989百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少276百万円、賞与引当金の減少184百万円であります。

純資産は、前期末比714百万円増加の13,255百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は81.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想などにつきましては、令和元年5月8日公表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,265,788	8,753,574
売掛金	1,879,102	1,590,327
製品	69,327	61,188
原材料及び貯蔵品	154,948	184,797
その他	138,133	226,162
貸倒引当金	△1,128	△954
流動資産合計	10,506,171	10,815,096
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,517,549	1,480,572
土地	2,952,605	2,952,605
その他(純額)	119,820	135,044
有形固定資産合計	4,589,975	4,568,222
無形固定資産	23,437	20,663
投資その他の資産		
その他	1,007,486	868,834
貸倒引当金	△49,907	△28,471
投資その他の資産合計	957,578	840,362
固定資産合計	5,570,992	5,429,248
資産合計	16,077,163	16,244,345

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	288,297	291,469
短期借入金	70,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	254,877	240,144
未払法人税等	456,460	180,280
賞与引当金	279,210	94,737
その他の引当金	—	34,200
その他	1,143,675	1,092,127
流動負債合計	2,492,520	2,092,958
固定負債		
長期借入金	398,653	379,670
役員退職慰労引当金	544,672	415,486
資産除去債務	88,425	89,661
その他	11,814	11,268
固定負債合計	1,043,565	896,085
負債合計	3,536,086	2,989,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,156,410	1,156,410
資本剰余金	856,410	856,410
利益剰余金	10,527,998	11,242,609
自己株式	△477	△584
株主資本合計	12,540,340	13,254,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	736	455
評価・換算差額等合計	736	455
純資産合計	12,541,077	13,255,300
負債純資産合計	16,077,163	16,244,345

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	11,378,914	11,418,218
売上原価	3,145,931	3,197,664
売上総利益	8,232,982	8,220,554
販売費及び一般管理費	6,110,563	6,107,602
営業利益	2,122,419	2,112,952
営業外収益		
受取利息	420	1,120
受取保険金及び配当金	31,451	21,968
その他	6,775	5,942
営業外収益合計	38,647	29,031
営業外費用		
支払利息	4,745	4,573
リース解約損	3,537	7,398
支払手数料	6,760	6,760
その他	3,828	1,220
営業外費用合計	18,872	19,952
経常利益	2,142,195	2,122,031
税引前四半期純利益	2,142,195	2,122,031
法人税、住民税及び事業税	634,552	549,156
法人税等調整額	79,937	154,790
法人税等合計	714,489	703,946
四半期純利益	1,427,705	1,418,084

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。